

来訪者管理基本計画の取組項目の実施状況

資料 3 - 2

- ・来訪者管理基本計画の「5. 主な取組」に記載された内容について、西表島行動計画の事業進捗確認シートのフォーマットで整理を行った。
- ・すでに事業進捗確認シートに関連する内容が記載されているものについては、該当する主な事業項目を転記して灰色着色で示した。

No	来訪者管理基本計画の取組項目	実施主体(案)	事業名・取組名	事業年度(該当年度に)					対象地	事業概要<関係する会議体>	令和2年度の実施内容	令和3年度事業内容(案)	進捗状況の評価(いずれかに)										
				平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度以降					未実施	実施準備中	実施内容決定	事業開始	事業継続中	事業完了					
1	方針1 西表島主導の来訪者管理体制の構築	モニタリングによる順応的来訪者管理	竹富町船舶会社	年間入域観光客数の把握						西表島	行動計画や来訪者管理基本計画のモニタリング指標として検討中	竹富町入域観光統計による入域観光客数(月別)の集計	竹富町入域観光統計による入域観光客数(月別)の集計										
2			沖縄県船舶会社	1日あたりの入域観光客数の把握								船舶会社から提供のある過去の日別乗船者数を集計した。	船舶会社から提供のある過去の日別乗船者数を集計する。										
3			竹富町	宿泊率・平均宿泊数の把握									竹富町観光入域統計調査の実施。アンケート調査による宿泊者の把握。										
4			竹富町	(案)水道供給量、廃棄物処理量等の把握									水道は西表島から竹富町全町域に供給、廃棄物は全町域から集まるため、西表島限定の把握が難しい。										
5			(未定)	(案)レンタカー・バス・タクシー・自家用車の島内保有台数の把握									令和元年度より島別のレンタカー台数の統計情報が集計されなくなったため、西表島限定の把握が難しい。										
6			沖縄県	(案)島内の交通量・車両スピード等の把握										県道を14区画程度に分け、各区間での車両スピードを把握し、交通事故危険箇所や時間帯の分析を行うと同時に、レンタカーの移動パターン等の分析を行う。									
7			竹富町	島内の遭難・事故発生件数の把握									消防団員の出勤状況	消防団員の出勤状況から、観光事業に係るものを抽出して把握する。									
8			(未定)	(案)定期船や駐車場の混雑状況の把握																			
9			沖縄県八重山病院	観光客による島内医療機関の受診数の把握									西表島の東部診療所、西部診療所の受診者のうちの県外在住者数を把握した。	西表島の東部診療所、西部診療所の受診者のうちの県外在住者数を把握する。									
10			竹富町	観光関連産業への従事者数・島内居住率等の把握									陸域の観光ガイド従事者に限られるが、竹富町観光案内人条例による免許登録を開始した。	引き続き竹富町観光案内人事業者、ガイドの登録者管理を行う。									
11	西表島への入域観光客数の急増の抑制及び来訪時期の分散・平準化	沖縄県竹富町環境省船舶会社	旅行代理店、航空会社等への来訪者の誘導への協力要請・周知活動の強化						全国	西表カレンダー作成後、MPの周知と併せて観光業界のネットワークを活用した周知活動や訪問要請を実施。また、島内事業者に対しても施策の周知及び協力依頼を行う。	ツーリズムエキスポの際や旅行代理店・報道機関等に対し適宜、観光管理の取組について周知し、分散利用を要請した。	県内外の旅行代理店に対し、観光管理の取組を周知し、分散利用を要請する。											
12		沖縄県環境省竹富町船舶会社	混雑カレンダー等の情報提示による利用分散の推奨							混雑日を示すカレンダーや混雑する時間帯の情報を観光客に周知し、利用集中を避ける行動を促す。船会社・行政・観光協会等関係機関HP等での情報発信を行う。	混雑状況の予測方法や示し方等についての検討を行い、カレンダー案を作成した。	混雑状況の予測方法や示し方等についての検討を行い、カレンダーを作成する。											
13		船舶会社環境省沖縄県	利用集中を避ける仕組みの導入							利用施設や交通手段等について利用の集中を避けるための手段や仕組みを導入する。(例:時間帯指定を伴う)													

No	来訪者管理基本計画の取組項目	実施主体(案)	事業名・取組名	事業年度(該当年度に)					対象地	事業概要<関係する会議体>	令和2年度の実施内容	令和3年度事業内容(案)	進捗状況の評価(いずれかに)					
				平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度以降					未実施	実施準備中	実施内容決定	事業開始	事業継続中	事業完了
		竹富町								事前予約制度、変動料金の設定、1日のコース行程の変更等)								
14	適正な観光管理の中心となる組織の設立	環境省	組織体制の検討						西表島の適正利用とエコツーリズム促進など観光管理の中心となる組織の設立を行う。	行政、関係団体、地元有志等が参加する「西表財団設立準備会」を立ち上げ、観光管理の中心となる組織の設立に向けた検討した。	西表財団設立準備会の場で議論を行い、西表財団を設立する。							
15	観光に伴う環境・住民生活への影響低減に向けた必要な施設の整備・管理	環境省 沖縄県 竹富町	港や利用拠点におけるトイレ・駐車場等の整備等															
		沖縄県	港や利用拠点におけるトイレ・駐車場等の整備等					大見謝	大見謝ロードパーク等におけるトイレの整備について検討	関係行政機関との意見交換を実施した。	関係行政機関との意見交換を行い、令和4年度の設置に向け、予算要求する。							
		環境省	ヒナイ地区でのフィールドトイレの運用					ヒナイ	ヒナイ地区(ピナイサーラの滝)の利用者を対象にしたフィールドトイレ(携帯トイレ・バイオトイレ)の活用を進める。	ガイド事業者等と連携し、携帯トイレの運用を進めた他、マーレ川にバイオトイレを設置し試験運用を開始した。	フィールドトイレの運用を進めるとともに、維持管理等にかかる費用を確保するための協力金制度の導入を検討する。							
		竹富町	港や利用拠点におけるトイレ・駐車場等の整備等					マーレ川	マーレ川における駐車場及びトイレの整備	マーレ川駐車場の拡張整備を実施した。バイオトイレを試験的に設置し、運用方法を検討するための課題抽出を行った。(実施主体:西表島エコツーリズム推進協議会)	引き続きバイオトイレの実証実験を行う。(実施主体:西表島エコツーリズム推進協議会)							
16		沖縄県 竹富町 環境省 船舶会社	定期船や港の混雑緩和に関する取組						町内全ての離島港において優先レーン等の設置を検討。									
17		環境省 竹富町 沖縄県 船舶会社	港の駐車場の混雑緩和に関する取組						大原港駐車場利用ルールの強化及び周知。									
18		環境省 竹富町	イリオモテヤマネコの交通事故防止のための道路脇の草刈り体制の構築					西表島	イリオモテヤマネコの交通事故防止のために、地元住民や関係機関などと連携して、道路脇の草刈り体制を構築する。	○イリオモテヤマネコ保護基金などを活用し、地元住民や関係機関などと連携した草刈りやアンダーパスの維持管理を実施したほか、継続した体制構築に向けた検討を行った。	○引き続き、地元住民や関係機関などと連携した草刈りおよびアンダーパスの維持管理を実施する他、継続した体制構築に向けた検討を行う。							
19			ペットボトル削減等のごみの減量化															
20		環境省 沖縄県 竹富町	周辺管理地域における観光受入施設の整備															
		環境省 沖縄県 竹富町	西表野生生物保護センターの改修					古見周辺	野生生物保護の拠点となる西表野生生物保護センターの大規模改修を実施し、交通事故防止の啓発展示や、バックヤードツアーなどを行い、イリオモテヤマネコなどの野生動物の保護と適正な観光利用を促進する。	関係機関と連携し、西表野生生物保護センターの展示改修の設計を行ったほか、イリオモテヤマネコやカムリワシなどの傷病個体を保護するケージを新設した。バックヤードツアーの実施に向けてモニターツアーを行った。	関係機関と連携し、西表野生生物保護センターの展示改修工事を行う。バックヤードツアーの実施に向けてモニターツアーの実施や検討を行なう。旧野外ケージを活用した「自然散策フィールド」整備に向け検討を行う。きめ細やかな情報発信や来							

No	来訪者管理基本計画の取組項目	実施主体(案)	事業名・取組名	事業年度(該当年度に)					対象地	事業概要<関係する会議体>	令和2年度の実施内容	令和3年度事業内容(案)	進捗状況の評価(いずれかに)				
				平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度以降					未実施	実施準備中	実施内容決定	事業開始	事業継続中
											館者対応を行うため、管理体制強化の検討を進める						
21			遭難・事故防止対策(注意喚起看板の設置、救助・連絡体制の構築等)														
22			西表島が持つ自然環境や伝統文化の魅力と価値を理解し、西表島のファンとなって魅力を発信してくれる層をターゲットとした誘客														
23			体験滞在型の旅行商品(島学校等)の継続実施。														
24		滞在型観光の推進	島独自の美しい自然現象(朝日、夕日、星空等)や伝統芸能の鑑賞・参加等を取り入れた宿泊を伴うプログラムの充実、及びそのための人材育成。														
25			西表島の観光情報(宿泊施設、アクティビティ、飲食店等の情報)の発信力の強化														
26		西表島エコツーリズム推進全体構想の策定	竹富町世界遺産推進室	(仮称)適切なフィールド利用事業					西表島全域(竹富町全域)	エコツーリズム推進法や町条例等による規制も含めたコントロールの設定<(仮称)適切なフィールド事業協議準備会>	エコツーリズム推進法の適用を目指し、フィールド利用の現状把握を行うとともに、適切な利用のあり方を検討する。	適切なフィールド利用のあり方を定めた「西表島エコツーリズム推進全体構想」の策定<竹富町西表島エコツーリズム推進協議会>					
27	方針2 西表島の自然を損なうことのない持続的な利用の実現	竹富町観光案内条例の制定、施行	竹富町世界遺産推進室 西表島エコツーリズム協会 (H29まで)竹富町観光協会)	竹富町観光案内ガイド届出制度づくり事業 (H29まで)西表島・自然体験型ツアーによるフィールド利用に関するルールづくり検討事業【再掲】					西表島全域・H29年度(コトン川、ゲータ川、後良川、クーラ川、ヒナイ川、西田川)	持続可能なフィールドの利用を目指し、ツアー事業者へのヒアリングや事業者間での意見交換・検討を行い、地域住民主体の実効性の高いルールを策定するための基盤構築を行う。	「観光案内人条例(仮称)」の内容が決まり次第、説明会や講習会を開催し、令和2年度からの円滑な施行を目指す。 「竹富町観光案内人条例(仮称)」施行に伴う周知・広報活動を行う。 フィールドへの入域規制に関するヒアリング調査等を行う。	令和2年4月1日施行に施行された「観光案内人条例」の運用。 ・観光案内人への免許交付手続き ・観光案内人に必要な研修会の開催 ・観光案内人事業報告委によるフィールド利用の把握					
28		利用に伴う自然環境への影響把握調査	環境省	利用に伴う自然環境への影響把握調査					西表島	国立公園の利用拠点(特にエコツアー実施箇所)における利用に伴う自然環境への影響把握手法の検討及び実施	国立公園の利用拠点(特に自然体験ツアー実施箇所)において、水質調査や環境DNA調査、魚類モニタリング調査などを琉球大学熱帯生物圏研究センターやガイド事業者などと連携して実施した。	引き続き、国立公園の利用拠点(特に自然体験ツアー実施箇所)において、関係機関などと連携して実施するとともに、新たなモニタリング項目の実施について検討を行う。					
			環境省	小動物のロードキル状況の把握					西表島		○道路上のカエルやカニ、ヘビ等の小動物のロードキル状況について、継続的な把握を行った。	○引き続き、小動物のロードキルの状況を把握するとともに、それと連動したヤマネコの出没状況や交通量の関連性等を把握する。					
29	方針3 環境負荷の低	利用者負担(入域料)の導入	環境省	利用者負担による入域料徴収に向けた検討					西表島	西表島に来島する観光客から入域料を徴収し、西表島の環境保全やイン	西表島に来島する観光客から入域料を徴収する仕組み構築のた	昨年度に引き続き、西表島に来島する観光客から入域料					

No	来訪者管理基本計画の取組項目	実施主体(案)	事業名・取組名	事業年度(該当年度に)					対象地	事業概要<関係する会議体>	令和2年度の実施内容	令和3年度事業内容(案)	進捗状況の評価(いずれかに)								
				平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度以降					未実施	実施準備中	実施内容決定	事業開始	事業継続中	事業完了			
	減のための来訪者費用負担の導入									フラ整備等に活用する体制を構築する。	めの検討を実施した。	を徴収するための仕組みについて検討を進める。									
30	方針4 島の自然・生活・歴史文化に関する来訪者への積極的な情報発信	西表島内における観光のルール、マナーの普及啓発	環境省 沖縄県 竹富町 船舶会社	西表島の観光の入口となる各種交通手段や拠点施設、宿や飲食店等における「西表島マナーブック」をはじめとしたパンフレット等の配布及び観光客への声掛け																	
沖縄県(自然保護課)			世界自然遺産普及啓発委託業務					西表島を含む沖縄県全域	沖縄島北部や西表島の遺産価値を県内外にPRするための映像コンテンツや、その他の普及啓発媒体を作成・提供し、地域住民を始めとする一般市民への普及啓発を図り、世界自然遺産登録に向けた機運を高める。	西表島マナーブックの多言語化 町広報誌を活用した普及啓発 環境教育及び遊覧飛行 普及啓発イベントとして、かるた大会、オリジナル舞台を西表島で開催 図画コンクールの開催	航空機、モノレール、路線バス、船舶、日本郵便トラック等へのラッピング広告 大型パネルや剥製を用いた移動展示開催 環境教育及び遊覧飛行 図画コンクールの開催										
環境省 沖縄県 竹富町 船舶会社			行政機関のウェブサイトや西表島の観光利用に関する案内を行うウェブサイトへの掲載																		
竹富町			竹富町観光マナーアップ動画の作成と配信					竹富町全域		竹富町観光マナーアップ動画の作成と配信(令和元年度)自然体験ツアーをふるさと応援寄付金の返礼品に採用した。											
32			環境省 沖縄県 竹富町 船舶会社	港や道路における交通安全運動の実施やヤマネコ事故件数等の周知																	
			環境省 竹富町(世界遺産推進室)	交通事故発生防止に関する連絡会議等					西表島	平成25年度から環境省と竹富町が共同事務局で連絡会議を実施し、交通事故発生状況の確認や各団体の事故防止に関する取組についての意見交換等を実施。 <交通事故発生防止に関する連絡会議> 関係機関が連携して交通事故防止の呼びかけを実施。	八重山警察署に対し西表島内の速度取り締まり強化を要望。 連絡会議を開催し、今後の対策について関係者間で情報共有を行い、意見交換会を実施。 交通安全強化週間等で関係機関が連携して交通事故防止の呼びかけを継続実施。 自然環境保全活動を目的とした地域おこし協力隊を西表島に配置し、やまねこ保護基金を活用した県道の除草活動の拡充等、交通事故対策に従事し、ヤマネコ交通事故防止につながる下草刈り等実施体制の構築を検討	八重山警察署に対し西表島内の速度取り締まり強化を要望。 連絡会議を開催し、今後の対策について関係者間で情報共有を行い、意見交換会を実施。 交通安全強化週間等で関係機関が連携して交通事故防止の呼びかけを継続実施。 自然環境保全活動を目的とした地域おこし協力隊を西表島に配置し、やまねこ保護基金を活用した県道の除草活動の拡充等、交通事故対策に従事し、ヤマネコ交通事故防止につながる下草刈り等実施体制を構築する									
33			環境省 沖縄県 竹富町 船舶会社	個人のセルフ利用者や昆虫採集等を行う人等へ周知・注意喚起																	
			環境省	普及啓発の実施					西表島	関係機関と連携して西表島の動植物	関係機関と連携して、林道やフェ	関係機関と連携して、林道入									

No	来訪者管理基本計画の取組項目	実施主体(案)	事業名・取組名	事業年度(該当年度に)					対象地	事業概要<関係する会議体>	令和2年度の実施内容	令和3年度事業内容(案)	進捗状況の評価(いずれかに)							
				平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度以降					未実施	実施準備中	実施内容決定	事業開始	事業継続中	事業完了		
		竹富町(世界遺産推進室)	竹富町自然環境保護条例普及啓発事業						竹富町全域	の密猟・盗掘対策のための普及啓発・パトロールを実施する。	リー発着場での動植物の密猟・盗掘に関するパンフレットの配布とパトロールを実施した。関係機関と連携して、密猟・盗採の防止を目的とした看板を設置した。	口やフェリー発着場等での西表島の法規制に関するリーフレット配布とパトロールを定期的実施する。								
34		環境省 沖縄県観光政策課 竹富町船舶会社	住民への情報共有の促進、多言語の用語集等による受入体制の強化						沖縄県全域	沖縄県地域通訳案内士(英語、中国語、韓国語)に対し、遺産価値や保全管理の取組を研修し、西表を適切に紹介できる人材の育成を図る。	-	県に登録する地域通訳案内士を対象に、奄美沖縄世界自然遺産の価値や保全管理の取組を学ぶためのスキルアップ研修を実施する。								
35	方針5 観光関連産業が地域社会や経済に貢献していく仕組みの構築	環境省 沖縄県竹富町	西表野生生物保護センターの改修(再掲)						西表島	野生生物保護の拠点となる西表野生生物保護センターの大規模改修を実施し、交通事故防止の啓発展示や、バックヤードツアーなどを行い、イリオモテヤマメコなどの野生動物の保護と適正な観光利用を促進する。	関係機関と連携し、西表野生生物保護センターの展示改修の設計を行ったほか、イリオモテヤマメコやカンムリワシなどの傷病個体を保護するケージを新設した。バックヤードツアーの実施に向けてモニターツアーを行った。	関係機関と連携し、西表野生生物保護センターの展示改修工事を行う。バックヤードツアーの実施に向けてモニターツアーの実施や検討を行なう。旧野外ケージを活用した「自然散策フィールド」整備に向け検討を行う。きめ細やかな情報発信や来館者対応を行うため、管理体制強化の検討を進める								
36				環境省	利用者へのルール周知やフィールド管理活動の拠点、遺産価値の普及啓発等の機能を持った世界遺産センター等の新たな拠点施設の必要性について検討する。										西表島	自然体験利用における利用者へのルール周知やレクチャー等を行う「フィールドセンター」の整備を行う。	自然体験型ツアーをふるさと応援寄付金の返礼品に採用した。	自然体験利用における利用者へのルール周知やレクチャー等を行う「フィールドセンター」の整備に向けて、関係機関等と調整を開始する。		
37		観光関連事業者と協働した地域貢献活動の推進	ガイド事業者による地元の子供向けの自然体験活動の実施																	
38			竹富町	地域の自然や文化と関連した寄付付き商品・ツアーの販売						竹富町全域	自然体験型の観光商品を竹富町の自然や文化に関連した寄付の呼びかけに活用する。	自然体験型ツアーをふるさと応援寄付金の返礼品に採用した。	より自然や文化の保護に結びつくような返礼品の検討や情報発信を進める。							
39				飲食メニュー、土産物への島内産品の積極的活用																
40				観光による地域の社会経済への波及効果に関する発信																
41			世界自然遺産登録による自然環境保全・地域社会の発展への寄与に関する地域住民への普及啓発																	